

『ひよっこりひょうたん島』の「ひとみ座」に感動の声 第39回主任手当拠出公演「美女と野獣」

越教組ニュース

二月三日、コミュニティセンター小ホールにおいて、主任手当拠出金による文化公演が行われました。
今年の演目は、あの「ひよっこりひょうたん島」で万人に知られる「ひとみ座」による『美女と野獣』でした。ディズニー映画などで有名なお話です。



「美女と野獣」野獣の城の中のひとこま

人形劇という表現方法は、今までのアニメや歌劇とは違う感動を与えたのではないのでしょうか。初めは野獣の唸り声に緊張を隠せなかった小さいお子さんも次第に、物語の世界に入り込んでいきました。お子さんだけでなく、付き添いの保護者にも好評でした。中には、お子さん連れでないお年を召した方も参観され、童心に帰って笑顔を見せていました。

感想いろいろ

〇こわいところもあったけど、ドラゴンやいも虫が、さいごとてもせいちようしていて、すごくおもしろかったです。さいごに野獣が人げんになったところが良かったです。すごくおもしろかったです。
〇いも虫が、さいごにちよつになったのが、すごく良かったです。やじゆうがさいごに人になってびっくりしました。あとドラゴンがいちばんおもしろかったところがすごく良かったです。
〇人形たちの動きがリアルでかわいかったです。目が光ったところはとてもおどろきました。一番いいと思った場面は、野獣の呪いがとけて人間に戻ったところです。いもむしのプチがかわいかったです。
〇野じゅうは、ベルに会えて楽しかったです。これから、いっしょにしゃあせにくらしていきそうです。
〇小さい頃から来ていました。私と同じ年…とうとう予定通りに四十回で終わりになるのはさみしいですが、こういった文化的なことには、(色々な先生の気持ちが集まって)触れる機会を作ってくださいたいことに感謝しています。下の子…二才半にはちよつこわかったようですが、こういった場所の経験も大切だと思えました。
〇大人になって人形劇を観る機会が今までありませんでした。今日、子どもと一緒に観て、とても楽しかったです。お人形のかわいさや、アニメとは違った表現力があり、とてもむきこまれました。また違う作品もぜひ観てみたいです。

影をするなど、終始和やかな雰囲気で見終えることができました。
「来年、四〇周年を区切りとして、主任手当拠出の公演を終えることにしました。」と拠出金管理委員長が告げると、小さなよめきが起り、感想文にも終演を惜しむ声が寄せられました。

最後になりましたが、主任手当を拠出していただいた多くの皆さんに、お礼を申し上げます。

越谷市教職員組合
情宣部
18.02.20(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

改憲へ突き進む政権に「待った」

「自衛隊」書き加えるだけではすまない

二〇一七年十月の不意打ちの衆院選で、三分の二以上の議席を獲得した与党。安倍政権は改憲への歩みを速めています。
参院選の「合区解消」や教育無償化を意識した「教育充実」案と共に提案されているのが、「自衛隊」明記の有無です。これこそ安倍内閣改憲の本丸とも言われ、そもそも憲法に書き込まなくても実現可能な「合区」や「教育」は他党の賛成を得るための政略手段であると指摘されています。

ちなみに「大学を含む教育の無償化」ですが、政府・自民党は改憲案から「無償」の表現を外す方向だといわれています。自民党の方針転換は明らかに公約違反です。大学なども無償化した場合、必要な財源「年3兆円以上」の財源がない。
ちなみに「大学を含む教育の無償化」ですが、政府・自民党は改憲案から「無償」の表現を外す方向だといわれています。自民党の方針転換は明らかに公約違反です。大学なども無償化した場合、必要な財源「年3兆円以上」の財源がない。

これについては二〇一五年九月に成立した安全保障関連法との矛盾が指摘されています。与党にとって、関連法では自衛隊は違憲であるはずがなく、憲法改正の必要はありません。
一方、この改憲案には、憲法学者の井上武史九州大学大学院准教授から「自衛隊を明記すると憲法上の国家機関になり、国会、内閣、最高裁判所と並ぶ序列に位置付けられ、法律で設置された防衛省と上下関係が逆転してしまう。」と、現体制との矛盾も指摘されています。

同様に、「防衛省の存在や自衛隊の範囲など、相当多くの規定を憲法に加えたいといけない」と指摘するのは、憲法学者の穴戸常寿東京大学大学院教授です。
「安倍首相は、憲法学者が『自衛隊が憲法違反』だと言うから改憲して違憲の疑義をなくす。今までの政府解釈から一ミリもたさず、一ミリも変えない」と発言していますが、それは無理なことなのです。